

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No.187

2005年

11~12月号

行 事 案 内

11月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 11月13日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 いつものカモ達が出そろっている頃。葦原ではオオジュリンやジョウビタキなど種類も多くなります。じっくり観察しましょう。
解 散 正午
担 当 桑森、飯島、北原、小林(寿)、松田、野口(紀)、中野

伊豆沼・蕪栗沼探鳥会

期 日 11月26日(土)、27日(日)
集 合 我孫子駅北口 午前6時15分
交 通 今井観光バス
宿 泊 本吉屋旅館
費 用 20,000円
申し込 松田幸保まで 先着順 19名
申込開始 11月3日(木)
Tel・Fax: 04-7182-8307

担 当 松田幸保 木村稔

12月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 12月11日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 今年最後の定例探鳥会です。手賀沼のカモたちを探鳥する良い季節です。年々減っているそうなので、一羽でも多く探鳥できることを祈りつつじっくり観察しましょう。湖面からの風は冷たいので、寒さ対策をお願いします。
解 散 正午
担 当 小林(寿)、野口(紀)、飯島、北原、桑森、松田、中野

涸沼探鳥会

期 日 12月30日(金) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
持 参 観察用具、弁当(途中購入可)、雨具
案 内 好評であります年末の涸沼探鳥会、今年からメジャーデビューです。暮れのなにかと忙しい時ではありますが、涸沼は手賀沼とはちょっと違う冬鳥の世界を垣間見ることが出来ます。また、地元名産の涸沼しじみもおみやげに欠かせなくなりました。酷寒の世界になるかもしれませんが涸沼の冬をご紹介しますと思います。
交 通 自家用車分乗で現地へ行きます。便乗者は一人2,000円を運転者にお渡し下さい。申込の際、自家用車提

供可能な方はその旨もご連絡下さい。

122-1-901

Tel: 04-7183-4683

申込 飯島博まで、12月11日締切。12月の定例探鳥会、葉書、電話、E-mailで下記まで。
〒270-1141 我孫子市栄25-9
Tel: 04-7185-8610

担当 飯島、田丸

波崎探鳥会

期日 1月3日(火) 雨天中止
集合 我孫子市役所 午前8時
持参 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可能)
案内 海鳥とワシ、タカ(昨年はハジロカイツブリ、ウミウ、ヒメウ、ミコアイサ、ノスリ、チュウヒ等51種)
交通 自家用車分乗。分乗者は一人1,500円を当日運転者にお渡しください。申込の際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。
申込 猪爪敏夫まで 定例探鳥会、芋煮会、葉書、電話、FAX
270-1143 我孫子市天王台5-13-6
Tel・Fax: 04-7186-5075
担当 猪爪

芋煮会

今年も楽しい芋煮会で今年の行事の締めくくりとします。五本松公園のお集まりください。全員で担当しますので多数の参加をお願い致します。ご家族の方の参加も大歓迎です。

期日 12月18日(日) 雨天中止
会場 五本松公園キャンプ場
集合 現地 午前10時
参加費 大人1,000円、中学生以下800円
持参 汁椀、箸、おにぎり等、酒類歓迎
担当 全幹事
申込 北原建郎まで、申込締切12月11日 八ガキ、電話、E-mailで
〒270-1166 我孫子市我孫子

第5回ジャパンバードフェスティバル

JBFが11月5日(土)、6日(日)手賀沼公園および親水広場等において開催されます。当会も下記の企画で参加しますので多数の会員の参加をお願い致します。

1. 我孫子野鳥を守る会の出展と催し
ブース1 「手賀沼を取り巻く水鳥の危機的状況！」
・手賀沼の水鳥の減少をグラフを使ってパネル展示で説明
・紙芝居(ツバメさんがやってきた!)
ツバメとスズメのお話とクイズ
・手賀沼の鳥の頒布
ブース2 「庭に鳥を呼ぶ」
・野鳥が好む木の実等を展示(庭や野原、林の木の実を集める。)
・巣箱、餌台の頒布
船上バードウォッチング
受付、案内等
定点バードウォッチング(親水広場噴水前)
スコープの提供をお願いします。
、の会場は手賀沼公園、の会場は親水広場です。お気をつけください。
2. JBFの催し
鳥学講座 山階鳥研と鳥博共同開催
バードフレンドリー・シンポジウム
「森と湖の国フィンランドのフクロウたち」

全幹事が担当しますが、多数の会員の協力が必要です。お手伝いいただける会員は下記へご連絡ください。1日または半日だけでも結構です。集合は午前9時、各会場へおいでください。

なお、11月4日(金)午後1時からブースの設営を行います。お手伝い可能な会員はこちらもよろしくお願ひします。

染谷迪夫 Tel: 04-7182-3972

第 15 回手賀沼ふれあい清掃

手賀沼ふれあい清掃に参加しましょう！

期 日 12月4日(日) 午前9時
 荒天の場合 12月11日(日)
 集 合 手賀沼公園多目的広場
 午前8時45分
 清掃開始 午前9時「ふるさとコース」
 (手賀沼公園～根戸新田)
 清掃終了 午前11時
 終了挨拶 午前11時15分
 解 散 午前11時30分
 担 当 事務局
 持 参 軍手、火バサミ等

* 実施・中止のお知らせ 8:00より孔巾が卜で(0180-99-3173)

11月幹事会

日 時 11月13日(日)午後1時30分
 場 所 水の館 3F 研修室
 議 題 JBFの内容検討と担当
 芋煮会の実施体制、作業分担
 会報188号掲載記事について
 報告事項
 その他
 その他議題あれば事務局へ連絡ください

新たなタイプのカワセミ都市進出

飯泉 仁

当会発足当初は、手賀沼とその周辺地域ではカワセミ (Alcedo atthis) は、あまり見かけることがない鳥類のひとつでした。ところが、1976年以降に再び記録されるようになり、その後観察記録が増えていきました。当会の観察記録を整理し、カワセミの動向について報告します。

1. カワセミ不在の時代

当会発起人のひとり、故吉田昇さんが会報 No1 で「カワセミが身近なところから観えなくなって久しい」と報告していることと当会のデータベースに 1972年から 1976年の間ではカワセミの観察記録は報告されていないこと、我孫子市 (1995) が「手賀沼のカワセミは水質悪化などにより一時姿を消した」と報告していることを考慮すると、1960年代後半から 1976年までの間は、手賀沼とその周辺地域にはカワセミの姿がなかったものと整理することができます。

2. カワセミの復活

会員諸氏の観察記録によると、1977年以降で次の示すように観察記録が復活しました。1987年以降観察記録がふえ、1997年以降では特に観察記録が増加しています。(1977年～2003年のカワセミ観察記録の報告件数)

	77年	78年	79年	80年	81年	82年	83年	84年	85年
件数	1	2	5	14	8	8	8	7	3
	86年	87年	88年	89年	90年	91年	92年	93年	94年
件数	6	11	7	11	13	10	11	22	12
	95年	96年	97年	98年	99年	00年	01年	02年	03年
件数	20	25	42	71	75	37	34	36	58

(1977年から2003年 カワセミの月別観察件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
77年	1											
78年										1	1	
79年								1	3		1	
80年	1	1	3				1	2	1	3	1	1
81年	3	1	1				1		1	1		
82年	2				1	1		1	1		2	
83年		1		2	1					1	3	
84年	2			1	1				1	1	1	
85年						1	2					
86年	1						1	1		1	1	1
87年	1		1						2	3	2	2
88年	2			1			1	1			2	
89年	1		3	1		2	1		1	1	1	
90年	2			1	2	1	2		1	1	2	1
91年	3	2	1	1					1		1	1
92年	1		1			1	1		3	1	2	1
93年	2	2		1		2	1		4	4	3	3
94年	3				1	1	1			1	2	3
95年	2	1	1	3		3	1	1	1	3	2	2
96年	3	5	2	2			1	1	3	3	2	3
97年	2	2	5	3	1	3	2	2	3	3	5	11
98年	9	4	6	4	4	2	1	5	7	11	6	12
99年	12	6	16	6	7	8	3	4	3	3	1	6
00年	4	1	1	1	1	2	3	2	6	5	4	7
01年	6	3	1	7	3	1	1	2	2	2	2	4
02年	3	4	4	1	3	7	3		1	2	5	3
03年	5	3	8	5	2	2	4	11	5	6	1	6

カワセミの観察記録の報告件数を整理してみると、次のようなことがわかりました。

- 1) 1979年以前は限られた観察記録のみだった。また、1980年以降で観察記録が増加した。
- 2) 1995年以降では通年観察されるようになった。
- 3) 繁殖期(3~8月)の観察記録は1988年以降で増加し、特に1997年以降で増加した。
- 4) 我孫子市(1995)が「1980年代後半で繁殖が認められる」と報告していること、1993年10月、1995年8月に幼鳥の観察記録があることを考えると、姿を消したカワセミが復活し、その後繁殖するようになった。

3. 首都圏のカワセミの動向

(1) 首都圏のカワセミの分布後退

唐沢(1987)は、首都圏の鳥類の動向について各種文献や観察記録を整理し報告しています。その中で、1960年代以降に多摩川水系のカワセミが急激に減少し、郊外に後退したことを報告しています。又、1960年までは都心の明治神宮ではほぼ毎月観察されていたものが、1964年頃には立川や多摩湖、1970年代に八王子、日野、青梅まで後退したことを指摘しています。その原因としては、水質汚染による餌の減少、営巣場所の岸辺のコンクリート化をあげています。

(2) 首都圏での復活

唐沢(1987)は、1980年代に入って都心から姿を消したカワセミが復活したことを報告しています。1980年に多摩川中流の是政、調布市、東大和市、1982年に杉並区、1983年に文京区でその姿が観察され、このうち文京区では繁殖が確認されたことを述べています。しかし、その復活は、餌である魚類が増加したこと、カワセミの習性に変化があることを考えると、都市環境に対応できる新しいタイプのカワセミが新たに進出したとみたほうが妥当と報告しています。つまり、かつての河川や池、自然環境が回復したことによってカワセミが復活したのではないことに注意すべきと指摘しています。

金子(1991)は、都市に復活したカワセミが水辺に営巣できる場所がないと数キロ離れた崖地に営巣して餌場まで通勤する行動が見られるようになったこと、土の崖のないところでは残材焼却用の穴を利用していた事例があることを報告し、唐沢(1987)が指摘している新たなタイプのカワセミが進出したと捉えることが適当である旨を報告しています。

(3) 手賀沼とその周辺地域での復活

観察記録をふりかえると、手賀沼とその周辺地域でも都心動向と同様の動きがあったことがわかります。

しかし、手賀沼(2001)が、1979年のCOD28ppm、1984年にアオコの異常発生、1989年の手賀沼の透明度は20cm以下、1990年のCOD18ppmだったことなどを報告しており、手賀沼の水質が改善されてカワセミが復活したことではないことに注意が必要です。特に、1975年以降、手賀沼と隣接する地域の斜面林が崩され、斜面が露出した場所にカワセミが営巣した事例(飯泉 私信)や手賀沼沿岸の遊歩道工事でそれまで土手に営巣していたものが場所をかえて営巣した事例を考慮すると、清流が復活してカワセミが戻ってきたのではなく、新たなタイプのカワセミの都市進出ととらえたほうが適切です。

(引用)

ほーほーどり．1974．吉田昇．我孫子野鳥を守る会会報no1．p5-6．

唐沢孝一．1987．都会の鳥たち．p137-143．草思社．

我孫子市．1995．我孫子市自然環境調査 報告書．p89-90．

手賀沼．2001．手賀沼年表．pp38．美しい手賀沼を愛する市民の連合会．

行事報告

8月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2005年8月14日 9:00~12:00
晴れ・風弱 気温 32

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、キジ、オオバン、コチドリ、キアシシギ、イソシギ、キジバト、カワセミ、ヒ

バリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、セッカ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計29種 番外 コジュケイ、カワラバト
<探鳥班> 佐々木隆、宮下三禮、諏訪哲夫、西巻実、榎本右、北原建郎、桑森亮、中野久夫、谷沢幸次、吉田隆行、常磐考義、木村稔、谷山晴男、川田光男、間野吉幸、大久保陸夫、田中功、飯泉仁、飯泉久美子、田丸喜昭、染谷迪夫、堀口勝、野口隆也、松田幸

保、小玉文夫、玉井修一郎、六角昭男、松本庸夫、松本勝英、松本葉子、飯島博

参加者 31 名

< カウント班 > 飯泉仁、飯泉久美子

調査種	上沼	下沼	合計
カイツリ	4	3	7
カワ	3	53	56
ダ イキ	8	3	11
チュウサギ	1	0	1
コサギ	0	1	1
コブハクチョウ	0	4	4
カガモ	3	3	6
オバン	0	2	2
合計	19	69	88

9 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2005 年 9 月 11 日 9:00~ 12:00

晴・風弱 気温 30

< 認めた鳥 > カイツブリ、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、バン、オオバン、コチドリ、トウネン、イソシギ、タシギ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、セッカ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

計 3 3 種

< 参加者 > 桑森亮、佐々木隆、猪爪敏夫、北原建郎、柴本三弘、柴本法子、川田光男、渡辺政一、飯島博、赤尾完、松田幸保、榎本右、宮下三禮、間野吉幸、西巻実、堀口勝、島崎純造、小口勝久、六角昭男、竹内英子、坂巻宗男、田丸喜昭、田丸メリールイス、小林寿美子、小玉文夫、植木康雄、田中隆、武藤康之、佐藤弘美、大久保陸夫、太田暁子、常盤孝義、橋本清、諏訪哲夫、鈴木静治、木村稔、吉田隆行、中野久夫 参加者 38 名

< カウント班 > 飯泉仁、飯泉久美子

調査種	上沼	下沼	合計
カイツリ	0	5	5
カワ	19	53	72
アマサギ	0	14	14

ダ イキ	4	4	8
コサギ	2	8	10
アオサギ	5	8	13
コブハクチョウ	4	6	10
カガモ	7	8	15
オバン	0	1	1
コチドリ	5	0	5
トウネン	1	0	1
合計	47	107	154

アオバト探鳥会

8 月 28 日

命がけて海水を飲むアオバト

大久保陸夫

夏の真っ盛り。猛暑を覚悟していたのに、この日に限って夏にしては珍しく温度が低めでしのぎ易い朝を迎えた。

昔よく利用した思い出の集合場所「銀の鈴」に着いてみると、昔とは様変わり、半地下のこじんまりとした広場は周りを喫茶店・食堂に取り囲まれ、便利な待ち合わせ場所になっていた。全員集合したので一路目的地へ出発。

大磯海岸は夏のシーズンでもあり海水浴客で賑わっていた。照ヶ崎の岩礁にとりついている海水浴客もいて、アオバトの出現が危ぶまれたが（私見）その合間をぬって何回か偵察飛行を試み、岩礁に降りて海水を飲むアオバトの姿を見ることができた。と同時に、イソヒヨドリが頻りに近くの電柱に姿を見せ、我々はアオバトとイソヒヨドリの両方を交互に見る、忙しい鳥見となってしまった。小生、両者の写真を撮るのに右を狙ったり左を狙ったり、その忙しさは半端なものではなく、写真の出来映えは「二兎を追うものは一兎も得ず」の結果となってしまった。

一方、アオバトは海水浴客の間をみては彼の荒い危険な岩礁に降り立ち海水を飲むことを繰り返していたが、あれほどまでに海水を飲むことに駆り立てられるものはなんなのか、不可思議の一語に尽きる。ひっきりなしに飛んでくるアオバトを見るのに夢中で、すっかり忘れていた昼食をそれぞれ立ったままとる。命をかけて海水を飲むアオバト

を参加者一同腹一杯に堪能。

帰るにはまだ時間があるので、東京港野鳥公園でシギ・チドリを観察することにした。

しかしながら、今日は休日（除土曜）野鳥公園に行く定期バスがほとんど走っていない。休日に野鳥公園に行く場合は少々歩けれど、東京モノレールがお奨め。実際、帰りはモノレールを利用。当日は飯泉さんの奨めで「ホリデイフリー切符」を購入。利用してみると、JRだけでなくモノレールも乗り降り自由という優れたもの。330円只になった勘定。JRを含め大儲けした気分。

野鳥公園はシギ・チドリの宝庫で9種が確認できた。シギ・チドリを観察小屋から至近距離で観察でき参加者一同大満足。小生、夢中になって写真を撮っていたらあっという間に帰る時間が迫っていた。結局、家に着いたのが午後7時過ぎ。一日中よう遊んだものだ。それにしても充実した一日だった。

アオバトを始めシギ・チドリを丁寧に色々教えていただいた飯泉さんに深感謝。参加者一同おつかれさまでした。

<認めた鳥>

「大磯町照ヶ崎」ウミウ、トビ、ウミネコ、セグロカモメ、キジバト、アオバト、スズメ、イソヒヨドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計10種

「東京港野鳥公園」

カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、アオアシシギ、キアシシギ、イソシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、セイタカシギ、キジバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、シジュウカラ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計21種

<探鳥班> 飯泉仁、野口鉄蔵、野口紀子、野口紀恵、吉田隆行、桑森亮、松田幸保、西巻実、立川節子、諏訪哲夫、間野吉幸、大久

保陸夫 参加者 12名

11月幹事会報告

日時	9月11日(日) 13:30~16:30
場所	我孫子市民会館 第6会議室
議題	1. JBF関係 2. 会報187号掲載記事 3. 報告事項 ・公民館施設の利用について ・サポートセンター移設に伴う新運営形態について ・手賀沼統一クリーンデー参加 ・手賀沼流域フォーラムに出展 ・地域活動インターンシッププログラム体験者受け入れ決定 ・市民活動フェアinあびこ2006参加 ・我孫子市環境レンジャー研修会より講演依頼あり間野会長が「手賀沼の水鳥の現状」について講演予定

お知らせ

【ご寄付】

竹中真理子(我孫子市環境レンジャー)さんよりご寄付を頂戴しました。厚くお礼申し上げます。

【新人会員紹介】

渡辺政一(柏市豊町)

鳥 だ よ り

06.02 [高野山] 7ヶ所(2)巣箱から巣立ち前後の雛 仲村 昇(山階鳥研)

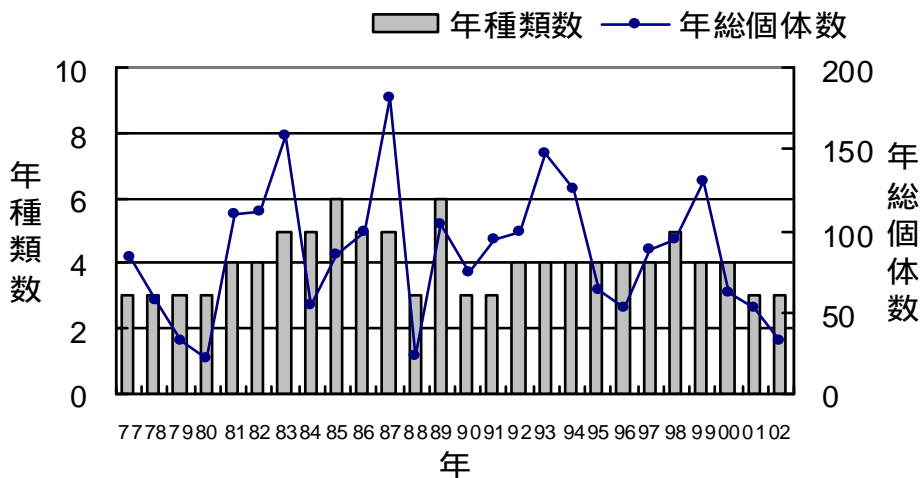
07.15 [岡発戸新田] ヨシコイ(1) 飛翔 首藤佑吉・美恵子

- 07.16 [つくしが丘] ㇿ(1)枝に止まり見張りをした後に屋敷林の中に入り鳴いていた 飯泉 仁
- 07.20 [手賀] 材効(2) 志賀鉄雄
- 07.20 [泉] アハ`ス`ク(1)電線に止まり鳴く 志賀鉄雄
- 07.20 [柳戸] 材効(1)樹上に 志賀鉄雄
- 07.22 [弁天下] フウゲ`ン`ホウ(3)飛翔 中野久夫
- 07.22 [布瀬] 材効(1)樹上に 志賀鉄雄
- 07.24 [手賀沼下沼] ヨゴ`イ(1) 志賀鉄雄
- 07.24 [東我孫子1丁目] アカ`ラ(1)木の幹を叩く 首藤佑吉
- 07.27 [北新田] 夕ヅ` (1)オス、畦上 中野久夫
- 07.29 [北新田] 材ヅ`シ` (1)休耕田から飛立ち 中野久夫・金成典知
- 07.29 [北新田] シ`ユリ(1)畦で囀り 中野久夫・金成典知
- 07.29 [手賀川] ヨゴ`イ(1) 志賀鉄雄
- 07.31 [岩井新田] ヨゴ`イ(2)葦原飛翔 桑森 亮
- 07.31 [岩井新田] ミコ` (1)下沼杭上 桑森 亮
- 08.03 [若白毛] アハ`ス`ク(1)声 志賀鉄雄
- 08.05 [北新田] フウゲ`ン`ホウ(2)電柱から飛去 中野久夫
- 08.05 [北新田] 夕ヅ` (5)越流堤池で 中野久夫
- 08.05 [北新田] イヅ` (1)越流堤池で 中野久夫
- 08.05 [北新田] ソリハシヅ` (1)越流堤池で 中野久夫
- 08.07 [東中新宿] 材効(2)親鳥が幼鳥に餌を与えた 飯泉 仁・久美子
- 08.08 [鷺野谷] アハ`ス`ク(1)声 志賀鉄雄
- 08.09 [岩井] アハ`ス`ク(1)声 志賀鉄雄
- 08.11 [曙橋] イハ`マヅ` (1)採餌 中西栄子、諏訪哲夫
- 08.12 [曙橋] 夕ヅ` (2) 1 1、調整水田で 中野久夫
- 08.12 [水道橋] フト`リ(14)調整水田で 中野久夫
- 08.12 [水道橋] イヅ` (2)排水路で 中野久夫
- 08.13 [光が丘] 材効(2)幼鳥が親鳥に餌をねだっていた 飯泉 仁
- 08.14 [手賀沼] フウゲ` (1)上沼 飯泉 仁・久美子
- 08.14 [箕輪新田] 材効(1)下沼 飯泉 仁・久美子
- 08.14 [岡発戸新田地先] フウゲ` (4)就埒 平岡 考
- 08.14 [水道橋] マヅ`シ` (2)休耕田に立つ 平岡 考
- 08.17 [東中新宿] シ`ユウカ(3)親鳥1幼鳥2羽が人家に庭を渡り歩いていた 飯泉 仁
- 08.19 [天王台] ムカ`リ(8)埒入り 中森純也
- 08.19 [曙橋～水道橋] フウゲ` (-)採餌 飯島 博 大久保陸夫他
- 08.19 [曙橋～水道橋] コチ`ト`リ(-)採餌 飯島 博 大久保陸夫他
- 08.19 [曙橋～水道橋] シ`ロフト`リ(-)採餌 飯島 博 北原建夫他
- 08.19 [曙橋～水道橋] ケリ(2)採餌 飯島 博 諏訪哲夫他
- 08.19 [曙橋～水道橋] ヒハ`リヅ` (1)採餌 飯島 博 田中功他
- 08.19 [曙橋～水道橋] ウ`ラヅ` (2)採餌 飯島 博 中野久夫他
- 08.19 [曙橋～水道橋] ヌハ`マヅ` (1)採餌 飯島 博 大久保陸夫他
- 08.19 [曙橋～水道橋] クサヅ` (2)採餌 飯島 博 北原建夫他
- 08.19 [曙橋～水道橋] オ`ロヅ` (1)採餌 飯島 博 諏訪哲夫他
- 08.19 [曙橋～水道橋] フウゲ`シ` (-)採餌 飯島 博 田中功他
- 08.21 [曙橋] カ`ロヅ` (1)若鳥:フィッシングセンター東の休耕田 飯泉 仁・久美子
- 08.22 [曙橋] 材効(1)田圃畦道物色 大久保陸夫
- 08.22 [東中新宿] ㇿ(1)上空を飛翔していた 飯泉 仁
- 08.26 [曙橋] ショウ`ウハ`メ(2) 飯泉 仁・久美子
- 08.30 [手賀沼下沼] シ`フト`リ(3)採餌 志賀鉄雄
- 08.30 [中沼田(千間堤水路)] イヅ`シ` (3) 志賀鉄雄
- 09.03 [上沼田] ㇿ(1)高鳴き 大久保陸夫

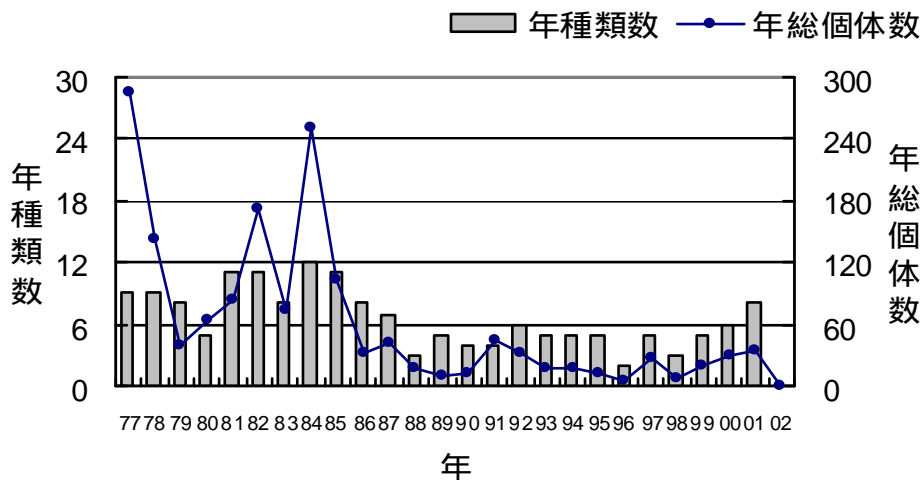
09.05 [大井新田]	ツドリ(1)梨の木に 志賀鉄雄	ターン	志賀鉄雄
09.07 [北新田]	ヒバ(1)カスに絡まれ飛去 中野久夫・金成典知	09.20 [ゆうゆう公園]	ヒバ(2)飛翔 中野久夫
09.09 [北新田]	ツバメ(5)越流堤池で採餌 中野久夫・金成典知	今回の観察者の総投稿件数	
09.11 [大津川河口]	ツバメ(5)下沼 飯泉 仁・久美子	赤尾 完	1
09.12 [布瀬新田]	ツバメ(1)稲刈り後の田で アマサギ捕食 志賀鉄雄	飯島 博	33
09.12 [北新田]	ツバメ(1)金谷水門で 中野久夫・金成典知	飯泉 仁	21
09.14 [北新田]	ツバメ(65)稲刈り中の田 んぼで採餌 中野久夫・金成典知	飯泉久美子	3
09.17 [岩井新田]	ツバメ(1)カルガモ捕食 志賀鉄雄	飯泉 仁・久美子	80
09.17 [ゆうゆう公園]	ツバメ(1)採餌 諏訪哲夫	大久保陸夫	6
09.17 [ゆうゆう公園]	ツバメ(1)飛翔 諏訪哲夫	桑森 亮	8
09.19 [手賀沼下沼]	ツバメ(1) 志賀鉄雄	笹川昭雄	5
09.19 [北新田]	ツバメ(2)越流堤横の草地 で 中野久夫・金成典知	志賀鉄雄	83
09.20 [鷲野谷新田]	ツバメ(1)斜面林へ U	首藤佑吉	1
		首藤佑吉・恵美子	1
		諏訪哲夫	4
		中西栄子	1
		中野久夫	69
		仲村 昇	1
		中森純也	1
		西巻 実	1
		平岡 孝	8
		松田幸保	1
		総計	328

「手賀沼の水鳥」(我孫子野鳥を守る会：手賀沼の鳥 . 2004 . より)

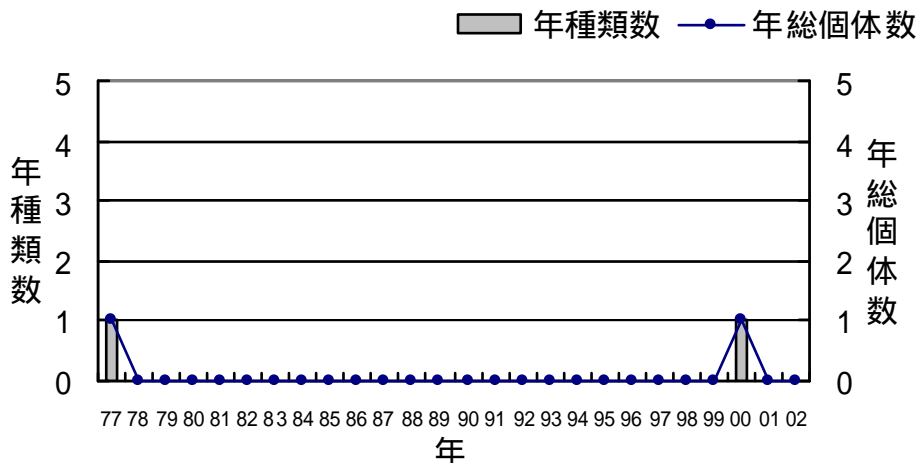
チドリ科の年種類数と年総個体数の推移



シギ科の年種類数と年総個体数の推移



セイタカシギ科の年種類数と年総個体数の推移



我孫子野鳥を守る会会報 No187 2005年(11~12月号)

発行 2005年11月1日

発行人 間野吉幸 我孫子野鳥を守る会 会長

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270-1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel 04-7182-3972

振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000円(大学生、高校生 1,000円、中学生以下 500円、
家族会員 無料)